

2004年防災教育チャレンジプラン最終報告書

記入日2005年 1 月 29日

I 概要

実践団体・担当者名	高知市立大津小学校（担当者：岡 敦子）	
連絡先	高知県高知市大津乙972 電話 088-866-2124	
プランタイトル	「災害に強いまちづくりプロジェクト2004」	
目的	<p>◆子どもたちがどんな状況におかれても、自分で考え、判断し、行動できる力〈自助力〉をつける。</p> <p>◆家庭や地域の人と共に防災について学習することにより、子どもたちの防災意識と共に、地域の『防災力』（共助力）を高める。</p> <p>◆プロジェクトチームのテーマ・ゴールを明確にしながら課題を追求することにより、情報を集めたり、まとめたり、伝えたりする力を身につける。</p>	
プランの概略	<p>「総合的な学習」で50時間実施。3年前から取り組んでいる「災害に強いまちづくりプロジェクト」を引き継ぐとともに、新たな切り口を取り入れプロジェクト学習を進める。</p> <p>① 図上訓練の実施・D I Gの手法で、自分の地域の避難マップ作成した。</p> <p>② 子どもが企画・運営する「第3回大津こども防災訓練」実施した。 （被災後の部屋から脱出する訓練・防災アイデア商品提案 他）</p> <p>③ 小さい子どもたち向けの「防災人形劇」を制作・上演した。</p> <p>④ 新潟中越地震への義援金集めの取り組み・励ましの手紙を書く。</p> <p>⑤ 「防災クッキング」を提案し、児童・保護者に広めた。</p> <p>⑥ 市民500人程度が参加した高知市主催の防災講演会（2005・1・16）で実践報告し防災について提言し、防災を呼びかけた。</p>	
プランの対象と参加人数	大津小学校6年生 116名 保護者・教員・地域自主防災組織 約100名	
実施日時	2005年5月～ 夏休み ～ 2005年1月（2月に提言書完成）	
主な実施場所	高知市立大津小学校（高知市大津乙972）	
連携した団体名、連携の方法	連携団体の有無	有り
	連携した団体名	<p>①高知県危機管理課 ②高知市防災対策課</p> <p>③高知市警防課 ④高知市消防局</p> <p>⑤日本赤十字社高知県支部 ⑥高知ソフトウェアセンター</p> <p>⑦神戸市長田区御蔵まちコミュニケーション</p> <p>⑧防災一座</p>
	連携したきっかけ・理由	<p>①～⑦以前より支援を頂いていた</p> <p>⑧中間報告会で資料を頂き、協力をお願いしたところ、詳しい資料を頂き「防災クッキング」を提案できた。</p>
連携団体へのアプローチ方法	<p>①～⑦以前より面識があった。</p> <p>⑧中間報告会で協力をお願いした。</p>	

	連携団体との 打合せ回数	① 電話連絡 ② 1時間 × 4回 ③④ 1時間 × 2回 ⑤ 1時間 × 1回 ⑥ 1時間 × 3回 ⑦⑧ 手紙・メールで連絡
	連携団体との役割分担	①～⑤の団体は「大津子ども防災訓練」へのアドバイス・資料提供を受けた。 ②⑥の団体は、D I G・デジタルマップ作りの指導を受けた。 ⑦修学旅行での炊き出し体験・長田区フィールドワークの協力 ⑧「防災クッキング」の資料提供を受けた

II プラン立案過程

プラン立案 メンバーの 人数・役割	団体内のスタッフ総人数	5 名														
	外部スタッフの総人数	0 名														
	主なメンバーの 役職・役割	<table border="0"> <tr> <td>責任者</td> <td>安藤 厚子</td> <td>(大津小学校長)</td> </tr> <tr> <td>6年担任</td> <td>清水 聡</td> <td>(大津小学校教諭)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>川元 雅一</td> <td>(大津小学校教諭)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>東川 朝子</td> <td>(大津小学校教諭)</td> </tr> <tr> <td>プロジェクト支援</td> <td>岡 敦子</td> <td>(大津小学校教諭)</td> </tr> </table>	責任者	安藤 厚子	(大津小学校長)	6年担任	清水 聡	(大津小学校教諭)		川元 雅一	(大津小学校教諭)		東川 朝子	(大津小学校教諭)	プロジェクト支援	岡 敦子
責任者	安藤 厚子	(大津小学校長)														
6年担任	清水 聡	(大津小学校教諭)														
	川元 雅一	(大津小学校教諭)														
	東川 朝子	(大津小学校教諭)														
プロジェクト支援	岡 敦子	(大津小学校教諭)														
プラン立案に要し た日数・時間	立案期間	2003年12月～ 2004年 1 月 ・ 10月26日														
	立案時間	およそ6時間														
	上記のうち打合せ回数	2時間×3回														
プラン立案で 注意を払った点 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 行政・専門機関・専門家等の協力を得るための計画・連絡を密にとることを大切にしました。 ◆ 「大津子ども防災訓練」で子どもたちが自分たちの知識・意志を持って企画・運営することができるように、それまでの学習を大切に進めていった。 (マスコミへの連絡：テレビ局3局・新聞社2社の取材があり、高知県内へ発信できた) ◆ D I Gでの避難マップ作りをし、その経験からデジタルマップを作成していけるように段階をふんで計画した。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10月24日以降の計画は新潟中越地震が起こったので大幅に変更した</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 2004年10月24日に起こった新潟中越地震の新聞記事等で学習をし、義援金を子どもたちの提案で12万円余り集め、赤十字社を通じて小千谷小学校に送った。 ◆ 3人の小学生が亡くなった東山小学校・山古志村虫亀地区(長岡市の明德高校の避難所)に励ましの手紙を全員で書いて送った。 ◆ 2004年10月に行なわれた中間報告会で知り合った「防災一座」さんに資料提供の協力をいただき、途中からの計画であったが2005年の大津小学校の健康・安全参観日に「防災クッキング」の実演が出来るよう計画を立てた。(6年生が体育館で乾パンを使った料理を400食程度を用意をして児童・保護者に試食してもらい、好評だった) ◆ 大津小学校が行なってきた「災害に強いまちづくりプロジェクト」を高知市の防災講演会でプレゼンテーションすることが11月下旬に決まり6年代表13名が実践報告を行なった。防災の大切さを提言する良い機会になった。 															

プラン立案で 苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大津こども防災訓練に地域・保護者の方にどのように参加していただくかについての話し合いを1回（2時間）持ったが十分な意志の疎通ができず、当日行き違いがあった。 ◆ 本年度は大災害が多く、情報の内容を見極めながら学習に組み込んでいく事に努力した。 ◆ 高知市の防災に関心のある方が集まる防災講演会でのプレゼンテーションで、子どもたちの頑張ってきた取り組みをどのような形で伝えるのが効果的か考慮した。 ◆ インド洋大津波の学習を2・3月と続けたいと考えている。高知大学の津波を研究している岡村教授（1月は忙しくて話が聞けなかったので）にスマトラ沖津波に関わる講演を子どもたちにしていただきたいと考えている。
-----------------	---

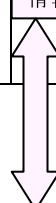
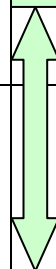
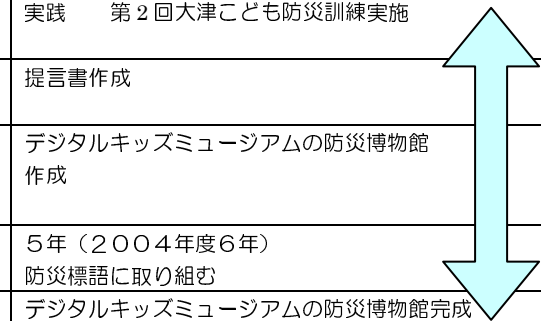
Ⅲ実践にあたっての準備

準備に関わった方 と人数・役割	団体内のスタッフ総人数	5 名														
	外部スタッフの総人数	0 名														
	主なメンバーの 役職・役割	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">責任者</td> <td style="width: 20%;">安藤 厚子</td> <td style="width: 60%;">（大津小学校長）</td> </tr> <tr> <td>6年担任</td> <td>清水 聡</td> <td>（大津小学校教諭）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>川元 雅一</td> <td>（大津小学校教諭）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>東川 朝子</td> <td>（大津小学校教諭）</td> </tr> <tr> <td>プロジェクト支援</td> <td>岡 敦子</td> <td>（大津小学校教諭）</td> </tr> </table>	責任者	安藤 厚子	（大津小学校長）	6年担任	清水 聡	（大津小学校教諭）		川元 雅一	（大津小学校教諭）		東川 朝子	（大津小学校教諭）	プロジェクト支援	岡 敦子
責任者	安藤 厚子	（大津小学校長）														
6年担任	清水 聡	（大津小学校教諭）														
	川元 雅一	（大津小学校教諭）														
	東川 朝子	（大津小学校教諭）														
プロジェクト支援	岡 敦子	（大津小学校教諭）														
準備に要した日 数・時間	準備期間	2004年 4月～ 2004年 1月（状況に合わせて）														
	準備総時間	70時間（災害に強いまちづくりプロジェクト実践全部）														
	上記の内打合せ回数	1時間×10回														
教育関係への 働きかけ	働きかけた教育関係者・ 機関名	<ul style="list-style-type: none"> ① 高知市教育委員会 ② 高知県の小中学校の教員 														
	どのように働きかけたか	<ul style="list-style-type: none"> ① 「大津こども防災訓練」には高知市長が応援に来てくださった。 ② 大津小学校の取り組んできた「災害に強いまちづくりプロジェクト」について高知県教育委員会主催の安全教育のセミナーで実践報告した。（県下の教職員150名程度参加） 														
	結果	高知県下の教職員の安全セミナーで防災学習の大切さ・成果を報告できた。														
地域への 働きかけ	働きかけた地域の人・ 機関名	<ul style="list-style-type: none"> ① 大津地区自主防災組織 ② 大津地区赤十字奉仕団 														
	どのように働きかけたか	「大津こども防災訓練」への参加を呼びかけた。														
	結果	事前に代表が集まって、「大津こども防災訓練」への参加体制について打ち合わせを行い、当日も参加していただいた。当日雨天で打ち合わせ通り出来なかった事もあり課題も残った。来年度はその点も考慮に入れて進めていきたい。														
保護者・PTAへ の働きかけ	働きかけた保護者・ PTA組織名	大津小学校PTA														
	どのように働きかけたか	学校通信で「大津こども防災訓練」への参加を呼びかけた。														

	結果	「大津こども防災訓練」を本年度は平日に行なったので、保護者の参加が少し少なかった。来年度は日曜日等の休日を考えたい。
機材・教材の準備方法	用意した機材・教材	① スモークマシン（２機） ② 災着ぐるみ人形（３体） ③ 消火器（２０本） ④ 担架用の毛布・竹の棒（２０セット） ⑤ バケツ（６０こ） ⑥ プロジェクター・スクリーン ⑦ パソコン ⑧ ダンボールパネル（５０枚）（購入） ⑨ マット（２０枚）
	入手先・入手方法	① 高知市防災対策課 ② 高知県危機管理課 ③ 高知市消防局 ④ 日本赤十字高知県支部 ⑤ ～ ⑨ 大津小学校
	機材・教材選定の理由（なぜこの機材・教材を選んだのか）	防災訓練に必要な機材であり、専門機関にあるものを利用させていただき費用を削減した。
参加者の募集	募集方法	「大津こども防災訓練」については学校通信で呼びかけた
	募集期間	２００４年９月１日～９月１７日
	参加予想人数	４００名（大津小５・６年・保護者・地域・行政・専門機関・マスコミ等）
	実際の参加人数	３８０名程度
	募集方法の成功点	大津地区コミュニティーの会で管理職が呼びかけた
	募集方法の失敗点	保護者の参加が少なかったのは、平日の午前中の防災訓練だったので次回は休日に実施することを検討したい。
準備で苦労した点・工夫した点	いくつかの専門機関の方との打ち合わせ、地域の方との打ち合わせ等が必要なため、対応に時間がかかった。 機材を借り受けに行くのが集中するので分担を計画的に行なった。また、持ってきていただいた物もあり、協力していただいていた。保護者の協力を来年度は希望していきたい。	

Ⅳ タイムスケジュール（プラン立案から実践終了までのスケジュールを記載して下さい。）

	プラン立案	実践にあたっての準備	実践
2003 11月			2003年度「災害に強いまちづくりプロジェクト」 実践 第2回大津こども防災訓練実施
12月	2004年度プロジェクト計画		提言書作成
2004 1月	申請書の作成		デジタルキッズミュージアムの防災博物館 作成
2月			5年（2004年度6年） 防災標語に取り組む
3月	2004年度プロジェクト計画発表		デジタルキッズミュージアムの防災博物館完成 5年生（2004年度6年） 阪神淡路大震災の学習
4月	プロジェクト計画 （6年担任3名と 共に打ち合わせ）	プロジェクト担当 第1回 打ち合わせ会	準備 「災害に強いまちづくりプロジェクト」 スタート 阪神淡路大震災についての学習 防災をテーマに修学旅行に行く準備
5月		プロジェクト担当 第2回 打ち合わせ会	震災学習・修学旅行（兵庫県） ◆人と防災・未来センター ◆長田区御蔵通りフィールドウォーク 専門家からの学習 ◆高知市防災対策課「災害とは・防災とは」 ◆日本赤十字社高知県支部「災害ボランティア」 ◆高知市消防局「救急法」実践 高知市主催の水防訓練に参加（6年全員参加） ◆土のう作り訓練 ◆倒壊家屋からの救出訓練等
6月		プロジェクト担当 第3回 打ち合わせ会	テーマ・ゴール・計画たて 21チームに分かれてチームでのプロジェクトスタート
7月		プロジェクト担当 第4回 打ち合わせ会	情報リサーチ 各チームごとの情報リサーチ ◆DIY実践（高知市防災対策課指導）
8月		プロジェクト担当 第5回 打ち合わせ会	◆GPS付き携帯電話で危険な場所を撮影、メールで学校のパソコンに送り、安全マップ作成 ◆各チームが情報リサーチを行なう
9月		プロジェクト担当 第6回 打ち合わせ会 地域・保護者への働きかけ 教育委員会への働きかけ マスコミリリース 機材・備品の準備	制作 ◆各チーム、発表の準備を行なう ◆「大津子ども防災訓練」9月24日実施 消火訓練 ・バケツリレー スモーク体験 ・救急法 被災後部屋脱出訓練 ・土のう作り訓練 プレゼンテーション ◆全チームのプレゼン
10月	中間発表会	プロジェクト担当 第7回 打ち合わせ会 「防災一座」さんに依頼	再構築 各自A4用紙2枚に提言をまとめ始める 情報リサーチ 10月26日～予定大幅に変更 新潟中越地震の情報リサーチ



11月	高知市防災講演会での児童のプレゼンテーションの依頼（高知市より）に対する計画	プロジェクト担当 第8回 打ち合わせ会 防災一座さんから資料届く	◆ ・新聞記事等で新潟の様子を知る ◆ 小千谷小学校に義援金を送る ◆ 小千谷市立東山小学校・山古志村の方々に応援の手紙を書く
12月	健康・安全参観日での「防災クッキング」の計画	プロジェクト担当 第9回 打ち合わせ会 地域・保護者への働きかけ マスコミリリース	制作 11・12日に岡（大津小）が新潟県長岡市の山古志村虫亀地区の避難所（明德高校）にボランティアに行き、子どもたちの手紙を山古志村の方に届ける。
2005 1月		プロジェクト担当 第10回 打ち合わせ会 地域・保護者への働きかけ 教育委員会への働きかけ マスコミリリース	プレゼンテーション 高知市防災講演会での大津小の取り組み発表（かるぼーと・市民約400名参加） プレゼンテーション 健康・安全参観日に「防災クッキング」を制作（児童・保護者400人分の乾パン料理を準備）
2月		インド洋大津波の学習。 地域・保護者への呼びかけ	成長エントリー 各自の防災への「提言書」政策 成長エントリー（自己評価・相互評価） 高知大学の津波を研究している岡村教授にスマトラ沖津波・南海地震に関わる講演を依頼中

- * 本年度は、10月24日（たまたま中間発表の日）の新潟中越地震・12月25日のインド洋大津波という大きな災害が起こり、10月26日～の取り組みを大きく変更する必要があった。11月中はまとめの予定ではあったが、新潟中越地震の情報を集め、義援金集め・応援の手紙・実際の避難所の様子（大津小・岡が山古志村の方々に情報リサーチしてきたビデオ等を使って）の学習をした。
- * 2005年1月16日に行なわれた高知市防災講演会（高知市主催）での発表の依頼が11月にあり、大津小学校児童（代表13名）が自分たちの取り組みをプレゼンテーションした。
- * 10月24日の中間発表会で交流した「防災一座」さんの資料を頂き、2005年1月16日の大津小「健康・安全参観日」に「防災クッキング」を実施し、乾パン試食を400人分用意して児童・保護者に試食してもい、大変好評だった。
- * インド洋大津波の学習については、専門家が1月は予定がいっぱいで講演ができなかった。そこで2月中に5・6年生保護者・地域を対象に講演会・学集会を行う予定である。

